

ふかまのまじ

第二五号 〇四年〇月〇日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 西本一三三



町会連合会活動報告

一、体育委員会
 ◇八月二八日開催し、市民体育大会参加のため、選手選考を行いました。昨年同様、出場選手を基本として、本人の了承を得て、次回に持ち帰ることにしました。
 ◇九月四日開催し、選手依頼結果を待寄り、補充を行いました。役員の内割りも決定しました。
 市町村合併により来年は、三町から四チームが新規参加するため、市内から四チームが減少することです。
 二、敬老会（九月二十日）
 久しぶりに敬老の日に実施。出席申込者の中で四人が体調不良等で欠席されましたが、五十人の長寿者が出席され、昨年より十四人の増加でした。

深小だより

台風接近で悪天候が続いた後の九月九日、深小学校の二年生と五年生が学校近くの藤川さん宅の田んぼで稲刈りをさせていただきました。



稲刈り作業の様子



稲刈り作業の様子

「うまくいきますように」といひながら、いねをかりはじめました。すると、数秒でいねは切れてしまいました。私は、まぐれだと思ってもう一束切ってみると、また、数秒で切れました。私は楽しくなって、いねをどんどんかきはじめました。
 そのとちゅうで、私は、カマがよいのかもしれないと思って、友達のとかえてみました。
 それでもうまく切れたのでうれしかったです。

いねをぼうにかける時には、もうたくさんだったけれど、よい経験ができたのでよかったです。

五年 力武 扶美子

今年はずり心地をよくするため、全席を椅子席としました。昨年に続いて五藤市長に出席を頂き、一緒に記念写真を撮りました。（写真は後日各家庭にお届けします。）
 祝宴の間に、幼稚園、小学六年生、女性会等地元有志による演芸を楽しんで頂きました。記念品は大判のバスタオルを贈りました。（欠席者にも届けます。）
 最後は、関係者全員で盆踊りを踊り、締めくくりました。今後、出来るだけ多くの方に出席して頂き、楽しい祝賀行事とするために、敬老会の持ち方について、役員までご意見を寄せ下さい。（事務局）▲▲



千川神社秋の大祭

千川神社総代 西本一三三

今年台風度々見舞われましたが、まずは豊作の秋を迎えました。
 町内の皆様にはいかがお過ごしでしょうかお伺い致します。今年も千川神社秋の大祭を次のとおり行いますので、町内の皆様の多数のお参りをお待ちしています。

場所 千川神社（深町中組）
 日時 十月十六日（土）
 十八時三〇分
 神儀・太鼓踊り（深小六年）
 十九時〜二十一時三〇分
 神楽・餅（菓子）まき

広島二科展入賞

上組の林大宗さん（金剛寺住職）が広島二科会の写真展に入賞（コダック賞）されました。作品は世羅の川端に舞う「螢」を撮られたものです。展示会は次のとおりです。ぜひ、みなさんもご覧になつてみてください。

広島展
 一〇月五日（火）〜一〇日（日）
 広島県立美術館・県民ギャラリー

福山展
 一〇月十三日（水）〜十七日（日）
 ふくやま美術館・ホール



短歌・俳句・詩

仲時講 竹内 博満

原爆の鐘に合せてわが妻は

黙禱し居り優しものかな

飼い猫は暑さに負けてか家の内

涼しき場所を占めて伸びる

殺虫剤焚けば屋根裏破ること

すずめ蜂舞い背筋凍りて

独演会



三遊亭歌之介
 11/23(火) 14時〜
 ところ リージョンプラザ文化ホール
 入場料 一般3,000円 (2,500円) 会員2,500円 (2,000円)
 ※ () 内は前売り料金。
 前売り券発売場所 文化スポーツ課、中央公民館、うきしろロビーなど
 問い合わせ先 三原市文化協会 (文化スポーツ課内 ☎647219 ☎647559)

三遊亭歌之介さんを、上組町内会では今年4月11日に上組公民館へお招きし、独演会を開催しました。

約80名の客席は大爆笑、大爆笑の連続で、腹の底から笑い、日頃のストレスなどはどこかに飛んでいきました。また、笑いの中にも数々の教訓がありました。

間違いなく楽しいお話が聞けるとお思いますので、この三遊亭歌之介独演会に出席されますことを町内の皆様にお勧めします。

上組町内会長 西本一三三

深町各種団体十月行事予定

- ◆町内会連合会
 - ▼市民体育大会練習 三日 (九時〜十一時)
 - ▼市民体育大会練習 六日 (十九時〜二十一時)
 - ▼市民体育大会 十日
 - ▼小学校・幼稚園 安全点検・代表委員会一日
 - ▼衣がえ
 - ▼読み語りの会 四日
 - ▼保健指導
 - ▼英語活動・PTA役員会 五日
- ▼クリーン活動
 - 諸費・雑費集金 七日
 - 貯金日・体重測定 八日
 - 社会見学 十三日
 - 集金日 十五日
 - びよびよハウス 十五日
 - ライオン号 十五日
 - お楽しみ会 十九日
 - 英語活動 十九日
 - 公開研究会 二十六日
 - 参観日 二十九日
 - テーマタイム 二十九日
 - 女性会 二十九日
 - 親睦会 二十九日

展望席

アテネ五輪の男子マラソンで首位を快走していたブラジルのデリマ選手が、突然乱入した男に走行を妨害された。しかし、このアクシデントにめげず、競技場に帰ってくる。と、笑顔で観衆に大きく手を振り、明るく振舞いながら見事に第三位でゴールイン。感動した観衆から一段と大きな歓声と拍手がデリマ選手を包みこみました。
 デリマ選手は残念な思いもあったようですが、悔し涙も流さず、乱入男を責めることも無く「ギリシャありがとう」「銅メダルを取ってハッピー」「これは神様が与えてくれた試練だ」と笑顔で語っていました。
 先般、私の知り合いの住職がこんな話をされました。私の娘が近所の子供に目を刺され、片目を失明したが、一〇年後その目が元通りに治った。また、母が交通事故で、頭蓋骨折で意識不明の重傷を負ったが三ヶ月後完治し、母は「先生に脳みそを洗って頂いたからボケないね」と笑っていた。この二つの災難を自分の問題として受け止め、加害者を決して責めず、損害賠償や慰謝料等は一切求めなかった。この災難は仏様が私の心を試したのだ思っている。マラソンは人生のドラマに例えられることもありすが、人生には様々なアクシデントがあるもの。そんな時多くの人々は、深刻にならず真剣に生きる姿に感動し、応援をするものです。デリマ選手や住職から「他人を非難するより、自分自身が心を広く持ち、前向きに懸命に努力し、誠実に生きる」との大切さを学んだように思います。

深の歴史こぼれ話(5)

深町保健体育振興会

中組 高崎 壽郎

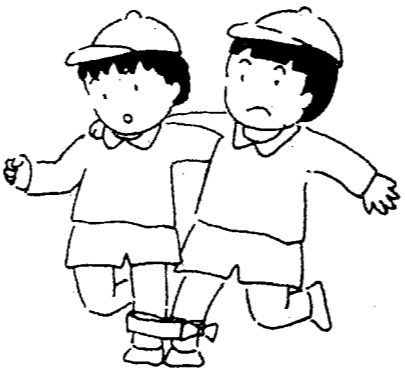
戦後のわが深田村の分村問題は、その是非をめぐり、昭和二十四年(一九四九)から二年余の間熱っぽい論争や運動が続いたようです。

そして、久山田と分村の結果、上・中・下の各町内会の機能は残りましたが、村全体としての連帯感や修復不能なほど壊れ、その後遺症は、いつまでもいつまでも尾を引いておりました。

「これではいけない。連帯感の修復はスポーツから」と、三原市合併から二六年後の昭和五二年(一九七七)に、各町内会を結ぶ組織の「深町保健体育振興会」ができました。

この会は、平成五年(一九九三)に結成された深町町内会連合会へ吸収されるまで、住民相互の連帯感を高める大切な役目を果たしてきたと思います。

今では、深町町内会連合会体育部として再出発し、町民運動会、市民体育大会、各種スポーツ競技大会などへ積極的に参加しています。



深町保健体育振興会の主な役員

年度	役員
昭五二	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五三	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五四	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五五	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五六	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五七	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五八	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五九	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
六〇	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
六一	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
六二	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
六三	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
平 元	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
二	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
三	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
四	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰
五	会 長 藤 進 理 事 長 紙 谷 素 泰 体 育 指 導 員 紙 谷 素 泰

如水館中学
チアリーディング

全国優勝おめでとう

九月三(五)日、東京代々木第二体育館で開催された「ジャパング日本選手権大会」に出場した如水館中学は、見事通算三回目の優勝を果たしました。常に上位入賞をしていた如水館高校は、今回は惜しくも決勝に進むことが出来ませんでした。来年の躍進が期待されます。



○田頭キャプテンの喜びの声

今回私たちは優勝することができました。この夏頑張ってきたので本当はうれしかったのですが練習では大変なこともありました。ケガ人が多く、全員でやるのができませんでした。大会の三日前にやっと皆でやるのができました。しかし、本番当日にケガをした人もいました。いろんなことがありました。皆が本気でやってくれました。私たちが優勝したのだと思います。私は優勝もうれしかったけど、「みんな一つになれた」とことにすごく意味があると思います。だから、全員でできたことが本当にうれしかったです。

それから応援して下さった皆さん、本当にありがとうございます。来年も良い結果が出せるよう、頑張ってくれると思うので今後もよろしく願います。

◇如水館十月の行事予定

- 中学校
- 入試説明会 十日
- 入試体験模試 十日
- 高校
- 入試説明会 十七日・三十一日

如水館・タイ留学生より
みなさん、こんにちは!



わたしのなまえはティティラです。ナナとよんでください。タイのバンコクからきました。私は十八さいです。わたしは三月二六日から日本にきました。来年の三月タイにかえります。

子ども会だより

キックベースボール
三位入賞

監督 畑中 資史

町内の皆様には、平素よりソフトボール、キックベースボール活動にご理解とご協力を戴きましてありがとうございます。町内の皆様のご支援を戴き、少しずつ道具も揃い練習も充実してきました。

深町エンゼルズは、昨年同様、三原市市連大会で三位になりました。優勝の道は、とても遠いですが、子ども達は、一歩一歩確実に近づいていると思います。

今年からは、深小学校で他の小学校との練習試合を行う予定です。小学校から女の子達の元気な大きな声が町内に響くと思います。是非一度、キックベースボールをご覧になって下さい。深町の小さな代表選手にご声援をお願いいたします。



◆試合結果 三原市市連大会 (八月二十九日)

- キックベースボール 三位
- 予選リーグ
- 深町一 二四南小連合A
- 深町二 四一六羽泉(久井)
- 決勝トーナメント
- 深町二 五一一四中町
- 深町三 一三七小泉
- ソフトボール
- 一回戦
- 深町六 一七X沼田西
- 敗者リーグ
- 深町三 一二八幡
- 深町五 一三沼田東A
- 深町〇 一三宇和島
- ソフトボールチームも二大会連続の三位は成りませぬでした。元氣あふれるプレーをしました。

今私は如水館高校にかよって
います。私のクラスは二年二組
進学コースです。日本でいっば
い新しいけいけんをしました。

日本語はとてもむずかしいです。日本の食べ物で好きなのは、お寿司とお好み焼きです。日本のおしゃれも好きです。日本の物は高いです。毎日学校に行きます。私のクラスは毎日楽しいです。勉強はとてもむずかしいです。

でもがんばっています。休みの日には寝たり音楽をきいたり本を読んだり手紙を書いたりしています。日本語をじょうずに読んだり書いたり聞いたり話すようになりたいです。

随筆
置き薬屋さん

中之町 河野 強



土手や道路の彼岸花の真っ赤が目立って綺麗だ。この季節になると、わが家には、かつて富山の薬屋さんが回って来ていた。

鳥打ち帽子に黒地の地味なジャンパー姿。木綿の大きなふろしきで包んだ荷物を縁側へ下ろし、柳ごおりの中の桐箱から新しい薬を取り出して、置き薬の古いのに入れ替える。

そして、「お久しぶりで御座います。お変わりございませんでしたか」と、丁寧ににこにこ顔でご挨拶される。

「しばらく見えない間に子供さんも大きくなりましたね。これはと、世間話をしながら「これはそまつの湯飲み茶碗と夫婦箸です。白南天の箸で健康に良いと言います。これでしっかりおまんまを食べて、今度お逢いするまで達者で居て下さい」といつまでも、食べ合わせの悪い物の注意書きや健康十訓書など一緒に下さる。

子供たちは、ひざを揃えて、薬屋さんの手元をじっと見ている。お土産の風船を、今や遅しと待っているのだ。

「お待ちどうさん。はい、ヒイ、フウ、ミイ、ヨ、おりこうさんだから五ツあげよう」と、六神丸、反魂丹など薬の名前を印刷された紙風船を、両手にいっぱい下さる。子供たちにとつて、久しぶりの薬屋さんの来られた嬉しい日であった。

今頃は時代もかわり、置き薬屋さんは、軽自動車で背広スーツ、ネクタイ姿、計算するのにもソロバンでなく、ピッ、ピッと電卓をたいて処理し、売上げが少なくともさかんにドリンクを勧め置いて行く。

「昔子供の頃は、よう風船を貰って嬉しかったもんだ」と話したら、「いればあげますよ」と、こともなげにビニールの袋からゴム風船を二個程出してくれた。早速ふくらませて、一歳半になる孫にやったら、パーン!!とはじけて「怖いよ」と泣き出し、恐れて見向きもなくなつた。

今年も色鮮やかにいっばい咲いている彼岸花を見て、ふと昔の置き薬屋さんの姿が懐かしく思い出された。



※ お詫びと訂正
先月発行(一二四号)の「ふかまのまど」の中之町河野さんの随筆「ラッキョウ」の中に、一字誤りがありましたので、お詫びし訂正します。

ラッキョウの文の下段の右から十一行目の「合わせて酢も煮て作り...」は、「合わせ酢も煮て作り...」が正しい文です。

※「契約トラブルの解決のため」に、今月は休みます。